



# デバイスに接続されたプロファイルの N 日目の変更のサポート

表 1:

機能名	リリース情報	説明
デバイスに接続されたプロファイルの N 日目の変更のサポート	NFVIS 4.6.1 Cisco vManage リリース 20.6.1	この機能を使用すると、デバイスに接続された後でも、ネットワーク設計プロファイルを変更できます。

- [N 日目のネットワーク設計の変更に関する制限事項 \(1 ページ\)](#)
- [N 日目のネットワーク設計の変更に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [ネットワークプロファイルの N 日目の変更の設定 \(2 ページ\)](#)

## N 日目のネットワーク設計の変更に関する制限事項

- デュアル WAN からシングル WAN への更新はサポートされていません。
- デュアル WAN を機能させるには、NFVIS 制御接続を両方の WAN (wan-br および wan2-br) を介して確立する必要があります。
- SRIOV および OVS インターフェイスはスワップできません。これは、インターフェイスの MAC アドレスが変更されるためです。
- 物理ポートはデフォルトのマッピングから削除できません。
- 1 つの物理ポートのみを 1 つの OVS-bridge に割り当てることができます。
- MAC アドレスを変更するネットワークマッピングスワップは許可されません。たとえば、VNIC タイプを virtio から SRIOV に変更すると、MAC アドレスが変更されるため、許可されません。
- フレーバーでは、CPU とメモリの値のみを更新できます。フレーバーは、Cisco vManage を使用して更新することをお勧めします。

- 最初に DPDK の有効化コマンドのみを N 日目の設定変更に応用し、それが成功して VM が稼働している場合は、フレーバー設定の更新を適用することをお勧めします。これは、DPDK を有効にするには VM を再起動する必要がありますが、VM の起動時に VM フレーバーを更新できないためです。したがって、設定変更を有効にする DPDK を残りの設定変更から分離することを推奨します。

## N 日目のネットワーク設計の変更に関する情報

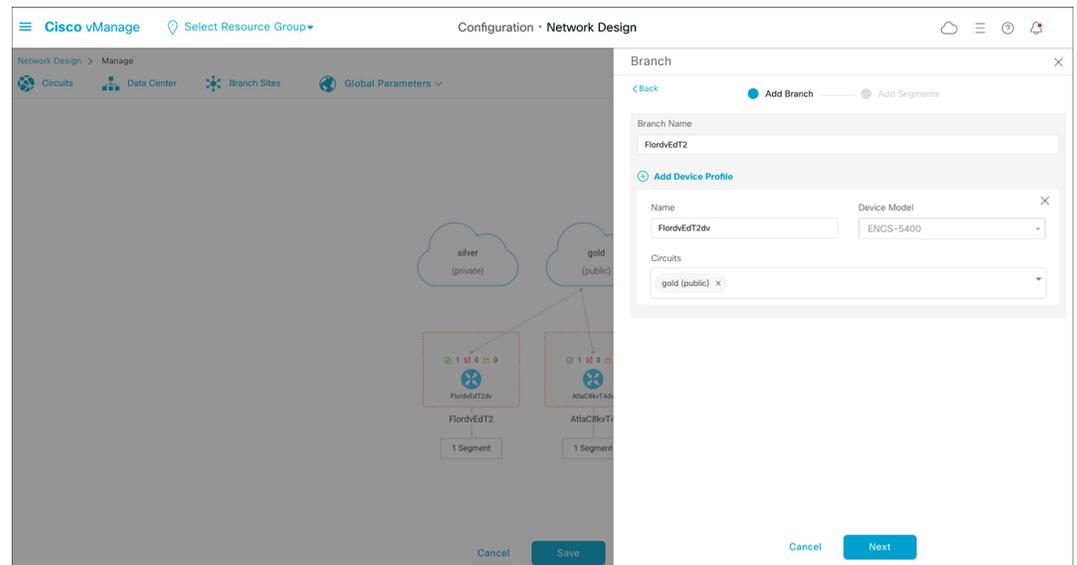
この機能を使用すると、1 つ以上のデバイスに接続された後でも、ネットワーク設計プロファイルを変更できます。グローバルパラメータの変更、サービスとネットワークの設定の編集、および WAN と LAN の設定の変更を行うことができます。CLI 設定を変更することもできます。

## ネットワークプロファイルの N 日目の変更の設定

### デバイス名とブランチ名の変更

ネットワークに接続されているデバイスの名前を変更するには、次の手順を実行します。

1. [Cisco vManage] メニューから、[Configuration] > [Network Design] を選択します。
2. [Manage Network Design] をクリックします。
3. [Branch Sites] をクリックします。
4. 編集するデバイスを検索し、編集記号をクリックします。
5. ブランチ名を変更する場合は、[Branch Name] フィールドに名前を入力します。



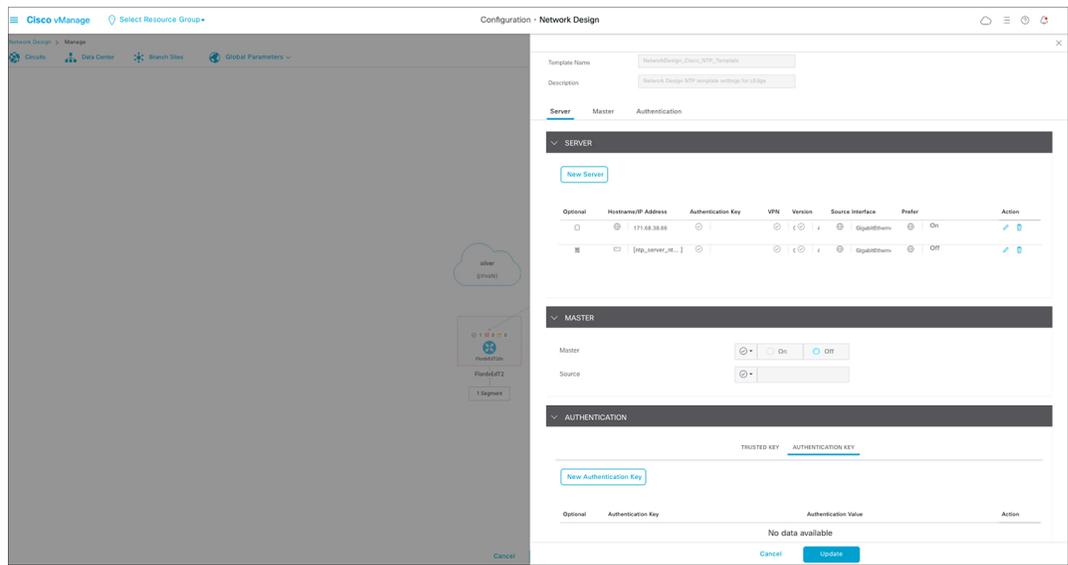
6. [Next] をクリックします。
7. セグメント名が選択されていない場合は、[Segment Name] ドロップダウンリストをクリックし、セグメント名を選択します。
8. [Add] をクリックし、[Finish] をクリックします。
9. [Save] をクリックします。表示されるダイアログボックスで [Proceed] をクリックします。

## グローバルパラメータの変更

グローバルパラメータの変更は、ネットワーク内のすべてのデバイスにグローバルに影響します。NFVIS 4.6 リリース以降、ネットワークに接続されているデバイスでもグローバルパラメータを変更できます。

N 日目にグローバルパラメータを変更するには、次の手順を実行します。

1. [Cisco vManage] メニューから、[Configuration] > [Network Design] を選択します。
2. [Manage Network Design] をクリックします。
3. [Global Parameters] をクリックします。
4. [Selected Device] ドロップダウンリストから、変更するスタックを選択します。これらのパラメータ (Cisco NTP、Cisco AAA、Cisco Logging) に対して N 日目の変更を行うことができます。
5. 新しいサーバーをプロファイルに追加するには、[New Server] をクリックし、新しい認証キーを追加するには、[New Authentication Key] をクリックします。既存のサーバーおよび認証キーパラメータを変更できます。
6. **Master** および **Source** のパラメータを修正することもできます。



7. [Update] をクリックします。



(注) NFVIS デバイスの変更を設定するには、cEdge パラメータを使用します。

## デバイスプロフィールの変更

デバイスプロフィールを N 日目に変更するには、次の手順を実行します。

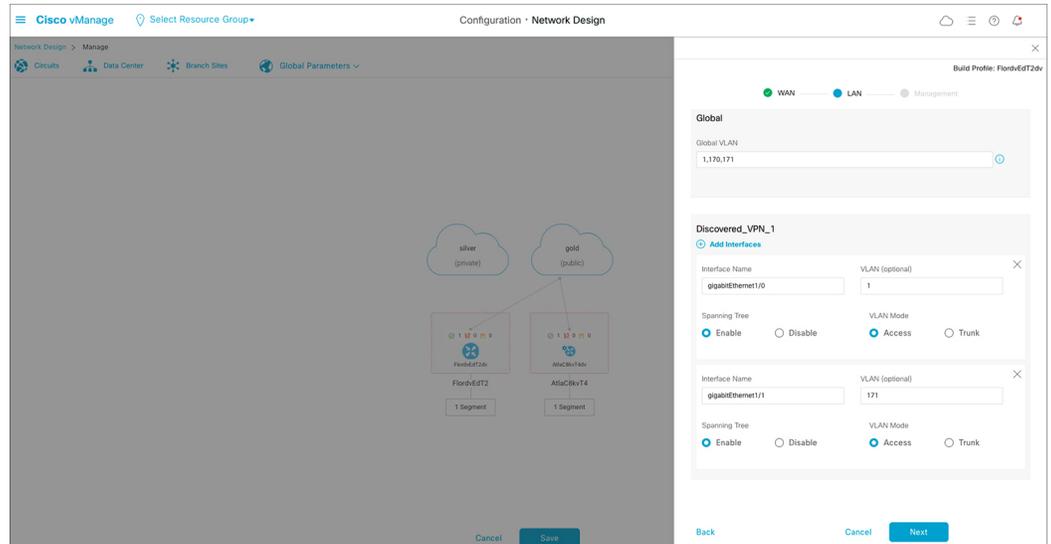
1. [Cisco vManage] メニューから、[Configuration] > [Network Design] を選択します。
2. [Manage Network Design] をクリックします。
3. N 日目の変更を行うデバイスをクリックします。
4. [Edit Profile] を選択します。
5. パラメータを変更するには、編集記号をクリックします。
6. WAN で、インターフェイス IP を [DHCP] または [Static] に設定します。



注 インターフェイス IP を静的として選択する場合は、CLI アドオン機能テンプレートを使用して IP デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。

7. [Next] をクリックします。
8. [LAN] で、[Global VLAN] の値を入力します。
9. 新しいインターフェイスを追加するには、[Add Interface] をクリックします。

10. 新しいインターフェイスのスパニングツリープロトコル、VLAN (VLAN ID)、および VLAN モードの設定を変更するには、それぞれスパニングツリー、VLAN (オプション)、および VLAN モードのフィールドを使用します。既存のインターフェイスに対してこれらの変更を行うこともできます。



11. [Next] をクリックします。
12. [Management] で、WAN プロファイルでの選択に基づいて、インターフェイス IP を [DHCP] または [Static] に設定できます。WAN プロファイルでインターフェイス IP を [DHCP] に設定する場合は、管理プロファイルで [Static] を選択する必要があります。逆も同様です。



⚠ インターフェイス名は、どのプロファイルでも変更しないでください。デフォルトのインターフェイス名は次のとおりです。

- WAN プロファイル : GE0-0 または GE0-1
- LAN プロファイルの場合 : gigabitEthernet1/0 ~ gigabitEthernet1/7
- 管理プロファイルの場合 : mgmt

13. [Done] をクリックします。

